

挿入機のメンテナンスについて

日常のメンテナンスについて

- 本体にガスケットが付いていることを確認して下さい。本体にガスケットが付いていない又は破損している場合は新品に交換して下さい。(図 1)
- シャフト及びねじ軸の汚れや付着物(砂・石等)は綺麗に取除いて下さい。
- ねじ軸の注油箇所(図 2)には定期的に注油(機械油可)をして下さい。
- ご使用後は水気等をよく取除き、専用のケースで保管して下さい。

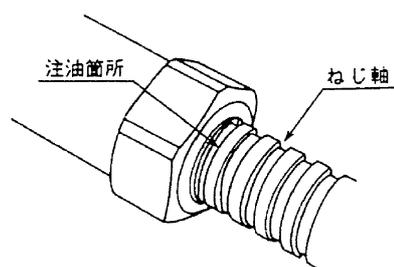


図 2

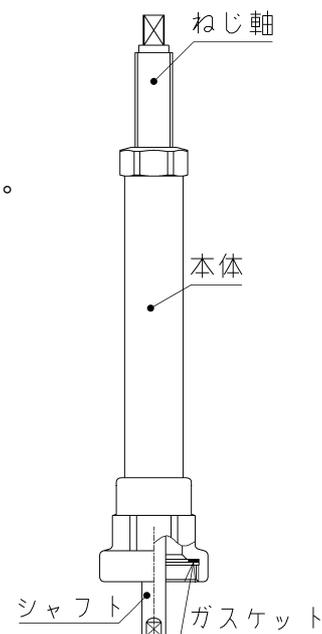


図 1

修理等が必要な場合

- 本体を固定し図 3 の状態でねじ軸を回転させた時に、シャフトが共回りする。
- // 挿入機から異音がする。
- // ねじ軸がスムーズに回らない。
- // 引っ掛かる様な感触がある。
- 通水で使用した時(又は使用した後)、図 4 の部分から漏水する。(又はねじ軸が水で濡れている。)
- ねじ軸を固定した状態で、シャフトの“ガタ”が 3mm 以上の場合。(図 5)
- シャフト及びねじ軸に変形や傷、又は取除き困難な汚れや付着物がある。
- シャフト・ねじ軸及び本体が著しく腐食している。

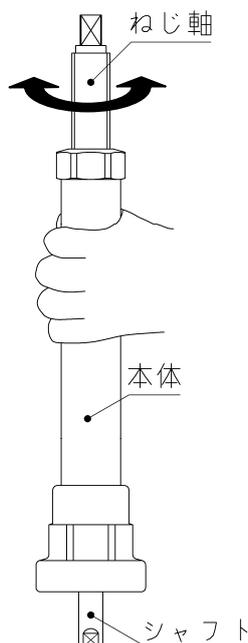


図 3

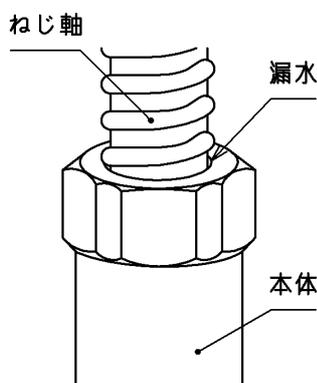


図 4

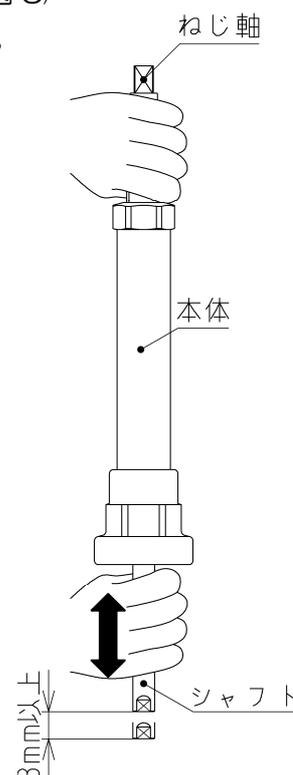


図 5